

事業コード	H19-建-新-11		区 分	国庫補助	県単独
事業名	秋田空港立体駐車場整備事業		部局課室名	建設交通部 港湾空港課	
事業種別	立体駐車場		班 名	空港班 (tel) 018-860-1286	
路線名等	秋田空港		担当課長名	山内 啓一	
箇所名	秋田市		担当者名	佐藤 和義	
総合計画との関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備	
	施策コード	01	施 策 名	高速交通ネットワークの整備	
	指標コード	03	施策目標(指標)名	空港利用者数	

## 1. 事業の概要

事業期間	H20 ~ H22 (3年)		総事業費	13.4億円	国庫補助率	55%	
事業規模	立体駐車場 1式						
事業の立案に至る背景	秋田空港駐車場は年間20万台が利用している。しかし、繁忙期には容量が不足し、到着ロビーから500m以上離れた仮設駐車場や除雪車格納庫前のスペースを解放する等の対応を余儀なくされている。また、第一・第二駐車場は午前中の早い時間にはほぼ満車となっている。特に冬期は風雪の中の移動や、車両に積もった雪の除雪に時間と労力を損失し、航空機本来の速達性が大きく損なわれている。このため駐車場に対する空港利用者の満足度はきわめて低い。空港利用者を対象としたアンケート調査では、「立体駐車場が必要」とする意見が夏期70%、冬期82%であり、課題解決のため立体駐車場に期待する県民ニーズは高い。						
事業目的	駐車場容量の確保、移動時間の短縮、除雪負担の軽減により、移動の円滑化を図り、秋田空港の利便性を向上させる。 さらに、羽田空港再整備に伴う国内線枠の拡充を機会とした東京便増便に向け環境整備を図る。これにより、空港利用の促進、交流人口の拡大、秋田の活性化に貢献する。						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度以降
	事業費		1,340,000	30,000	700,000	610,000	
	経費 内訳	工事費	1,340,000	30,000	700,000	610,000	
		用補費					
		その他					
	財源 内訳	国庫補助	737,000	16,500	385,000	335,500	
		県 債	572,850	12,825	299,250	260,775	
その他							
一般財源		30,150	675	15,750	13,725		
事業内容		立体駐車場及び連絡通路	調査・設計	立体駐車場	立体駐車場及び連絡通路		
調査経緯	H19 都市圏交通円滑化総合計画策定						
上位計画での位置付け	「あきた21総合計画」第3期実施計画において、「高速交通ネットワークの整備」施策として「空港の利便性向上」が位置づけられている。						
関連プロジェクト等	特になし						
事業を取り巻く情勢の変化	H22.10 羽田空港新滑走路の供用予定。これに伴い国内線拡大が予定。 H19.4.25 北海道東北知事会「羽田空港国内路線の充実に関する緊急提言」						
事業効率把握の手法	指標名	利用者満足度					
	指標式						
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	0 %		データ等の出典	アンケート調査		
	達成値 b	0 %					
達成率 b/a	0 %		把握の時期	平成23年 10月			

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	代替案として考えられる平面駐車場拡張は、適当な設置スペースがなく、また平面拡張では距離や雪に関する課題解決に繋がらないことから立体駐車場整備が妥当である。空港利用者の駐車場に関する満足度が低いこと、またアンケート調査結果より、夏期70%・冬期82%立体駐車場が必要との意見であり、利用者ニーズも高い。空港及び周辺道路に支障を及ぼさないよう管理者である県が行う必要がある。	33点
緊 急 性	平成22年10月に羽田空港の新滑走路が供用予定であり、これにあわせて立体駐車場を整備し、エアライン等に対しても秋田空港の利便性向上による増便をアピールするためにも、平成20年度事業着手が必要である。空港へのアクセス道路の整備事業やなど関連し、影響が大きい。	20点
有 効 性	施設を整備することにより、空港の利便性・速達性が向上し、利用者の増加が見込まれる。空港利用者増加並びに利用者の満足度向上に寄与する事業であり、施策目標の実現に寄与する。	8点
効 率 性	経済的なプレファブ方式の簡易立体駐車場の採用、計画段階でのVEを実施しコスト削減を図っている。今後も民間から技術提案を求める入札契約方式(設計施工一括方式・総合評価等)の採用など、各段階において多様なコスト削減の取り組みを図り、効率性を確保する。	10点
熟 度	空港利用者を対象としたアンケート結果より、夏期で70%・冬期で82%、立体駐車場が必要との意見が出ており利用者ニーズが高い。平成18年6月県議会の一般質問に対して「できるだけ早期に立体駐車場の整備を図りたいと考えている」と答弁しており熟度が高い。	10点
判 定	ランク ( ) すべての項目において評価点が高く、空港の利便性・速達性の向上により、利用者増加に貢献することが見込まれる事業であり、本県における交流人口拡大、地域の活性化のために実施すべきと考える。	81点
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定	改善して選定	保留
当該駐車場は、繁忙期には容量が不足し、冬期間は積雪・凍結により利用者の利便性と安全性が著しく低下している。当該容量を確保し、利用者の移動時間の短縮と降雪期の負担の軽減を図り、空港の利便性を向上させ、羽田第4滑走路の供用開始に伴う国内線再編に向けた環境整備を図ることは、人や物の交流を拡大させ産業の活性化に資し、実施は妥当と判断される。			

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定	改善して選定	保留
繁忙期時の駐車容量不足の解消や、荒天時及び冬期間時の利便性向上のため、当事業の実施は必要と考える。			

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定	改善して選定	保留
事業の実施は妥当である。			

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

当該箇所を国に新規要望する。 事業実施にあたっては、コスト削減等に努める。
--

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。
----------------

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 空港整備事業

事業コード(H19-建-新-11 )  
箇所名 (秋田市 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性 代替手段の有無	手段に代替性がなく妥当である	10	10	
		手段には代替性がないが改善の余地がある	5		
		他の手段と比較検討の余地がある	3		
	県関与の必要性	法令等で県が実施する事業	5	3	
		県が実施すべき広域的な事業	3		
		県が実施した方が望ましい事業	1		
	空港利用者または航空会社からのニーズ	ニーズが高い	10	10	
		ニーズを把握している	5		
		ニーズを把握していない、または、低い	0		
	将来需要予測の把握状況	最近のデータを基に将来需要予測を実施し、それに基づき計画立案	10	10	
将来需要予測を実施しているが、予測規模より大きな計画を立案		5			
将来需要予測を実施していない		0			
計			35	33	
緊急性	事業未実施の影響 次年度に事業を実施しない場合の影響	・次年度に実施しないと期待される事業効果や効率性が損なわれる	10	10	
		・次年度に実施しなくとも期待される事業効果や効率性は損なわれないが、事業実施の好機である	5		
		・次年度に事業実施しなければならない特段の理由はない	0		
	他事業との関連 他事業との関連	他事業と関連しており影響が大	10	10	
		他事業と関連しているが影響は小	5		
計			20	20	
有効性	期待される具体的効果 就航率の改善、利用者数の増加	就航率改善や利用者数増加の効果を数値表示可能	10	5	
		就航率改善や利用者数増加の効果を見込めるが数値表示不可能	5		
	上位計画への貢献度 秋田21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	3	
		施策目標に間接的に貢献する	3		
		施策目標とは別のその他関連事業である	0		
計			15	8	
効率性	事業の投資効果 費用対効果	1.0以上	10	0	
		1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減 コスト縮減の検討状況	十分なコスト縮減が図られている、または、その見込みである	10	10	
		コスト縮減が不十分であり、今後さらに検討する必要がある	0		
計			20	10	
熟度	合意形成の状況 周知と理解度	地元(関係者)へ周知され、理解が得られている	10	10	
		地元(関係者)へ周知されていないか関心が低い	0		
	計			10	10
合計			100	81	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		